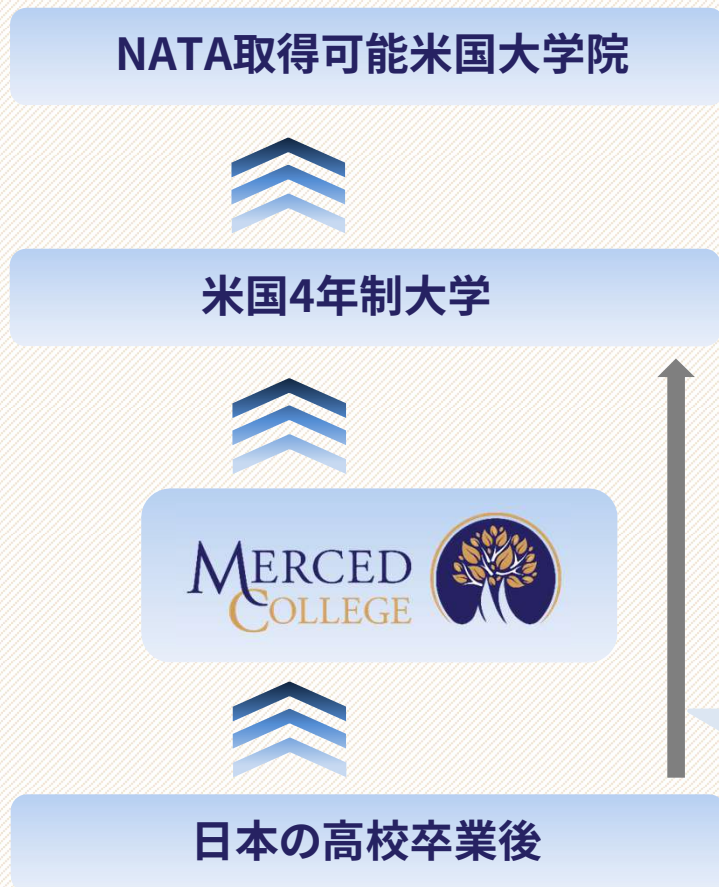


NATA公認アスレチックトレーナー志望者Pathway資料



NATA取得に向けての留学の流れ：高校卒業後



Merced Collegeに進学するメリット

- 留学費用を都市部の留学と比べて**抑える**事ができる。
- 英語力が**低い状況**からでも取り組める。
- 返済不要の奨学金取得の**可能性**を広げる。
- NATA取得への現地の**生の情報**を取得する事ができる。

高校卒業後、四年制大学に直接進学は現実的ではない。
高すぎるTOEFLの基準、四年制大学の学費は、Merced Collegeの学費の二倍にも三倍にもなる可能性があり、現実的ではない。

NATA取得に向けての留学の流れ：日本の大学卒業後



- ### Merced Collegeに進学するメリット
- 留学費用を都市部の留学と比べて**抑える**事ができる。
 - 英語力が**低い状況**からでも取り組める。
 - 返済不要の奨学金取得の**可能性**を広げる。
 - NATA取得への現地の**生の情報**を取得する事ができる。

日本の大学卒業後に、実際に大学院に進学できる生徒は数少ない。実際にMerced Collegeでは日本の大学を卒業した後に進学し、NATA取得を目指している生徒も多く在籍している。Merced Collegeで大学院に必要な英語力を習得する期間として、留学している生徒が数多くいる。

NATA取得した後のキャリアプラン



NATA取得した後のキャリアプランは？

世界最高峰の現場で活躍ができる。

- プロスポーツ界の現場で選手をサポート
- 世界で羽ばたく演者のサポート
- 米国大学や高校での学生選手サポート
- NATA取得希望生徒の指導

NATAを取得したからといって、上記のような職種に就けるわけではなく、現地の米国人との競争にも勝たなければいけない。
その為、費用面やNATA取得までの年月も踏まえて、アスレティックトレーナーに対しての、**熱い想いが一番重要**となる。



ベースボール



アメリカンフットボール



バスケットボール

米国プロスポーツ界へ



シルクドソレイユ



ディズニー

出演者のサポートへ



スタンフォード大学



UCロサンゼルス大学

大学専属トレーナーへ

マーセッドカレッジトレーナープログラム卒業生



前田 和佳菜

マーセッドカレッジ→グランドキャニオン大学(2018秋)

アスレティックトレーナー(以下、AT)になることを目標としている彼女は、Kinesiology(運動学)を専攻としマーセッド大学に2年間在学。在学中は、学業、トレーナー実習、そしてキャンパス内でのアルバイトと、ハードスケジュールをこなしながら日々を過ごした。2018年秋よりアリゾナ州のグランドキャニオン大学に編入学を果たし、現在大学院にて就学中。



池田 昂己

マーセッドカレッジ→南ミシシッピ大学(2019春)

学生トレーナーとしてマーセッドカレッジでの2年間で約900時間を費やし、経験を積んだ。マーセッドでは2名のアスレティックトレーナーのもと多くの知識と技術を取得。体格が日本人の倍ほどある選手へのリハビリのサポートやストレッチ、テーピングをする傍ら、全ての選手を把握するための書類の管理を経験し、組織化・専門化されたメディカルな環境で濃い時間を過ごした。

NATA取得に向けての留学費用：具体例

前田 和佳菜さんの場合

マーセッドカレッジ 300万円



グランドキャニオン大学 400万円



テキサステック大学院 300万円

6年間

1000万円

前田さんからの一口メモ

- 6年間で総額約500万円の無償奨学金を取得済み。
- GPAは常に3.9(4.0が最大値)以上。
- イメージとしては、最前線医療スタッフ。
- 怪我が起きた時、ゼロから対応していく楽しさ。

池田 昂己さんの場合

マーセッドカレッジ 400万円



南ミシシッピ大学 600万円

*現在は大学卒にてNATA取得は不可

4～5年間

1000万円

池田君からの一口メモ

- 総額約200万近い奨学金取得。
- GPAは常に3.5以上を取得。
- 大学卒業時でNATA取得は2020年で終了。
- トレーナーが好きじゃないと続かない。